

鹿児島市食品ロス削減推進計画（素案）に係るパブリックコメント手続で提出された意見等の対応状況について

1. 意見の募集期間 令和5年12月21日（木）～令和6年1月25日（木）

2. 意見の提出者数（件数） 8人（55件）

3. 意見の対応状況

（単位：件）

項 処理区分	1	2	3	4	5	6	7	計
	第1章 計画の 基本的事項	第2章 現状と課題	第3章 基本方針と 各主体の 役割・責務	第4章 目標	第5章 基本的施策 と取組	第6章 計画の 推進・管理	その他	
A：意見の趣旨等を反映し、 計画（案）に盛り込むもの	1	1	2	0	5	0	1	10
B：意見の趣旨等は、計画（素 案）に盛り込み済みのもの	2	2	0	2	1	0	1	8
C：計画（案）には盛り込まな いもの	0	0	0	0	0	1	0	1
D：具体的な事業の実施にあたり 参考とするもの	0	1	1	1	4	4	2	13
E：その他要望・意見等	4	6	1	4	5	1	2	23
計	7	10	4	7	15	6	6	55

鹿児島市食品ロス削減推進計画（素案）に係るパブリックコメント手続で提出された意見等の対応状況について

項目別の件数

項目		件数
1	第1章 計画の基本的事項	7 件
2	第2章 現状と課題	10 件
3	第3章 基本方針と各主体の役割・責務	4 件
4	第4章 目標	7 件
5	第5章 基本的施策と取組	15 件
6	第6章 計画の推進・管理	6 件
7	その他	6 件
合計		55 件

対応区分別の件数

対応区分	件数
A 意見の趣旨等を反映し、計画（案）に盛り込むもの	10 件
B 意見の趣旨等は、計画（素案）に盛り込み済みのもの	8 件
C 計画（案）には盛り込まないもの	1 件
D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	13 件
E その他要望・意見等	23 件
合計	55 件

意見等を提出した人数	8 人
------------	-----

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	1	第3節の計画の区域ですが、「必要に応じて広域的な視点に立つものとします。」とは、計画区域を鹿児島市外にも広げることもあり得るのですか。	ご意見を踏まえ、第1章第3節 計画の区域内の文中、「必要に応じて広域的な視点に立つものとします。」を削除し、「計画区域は、本市の行政区域内全域です。」に修正します。	A
2	1	計画策定にあたっての視点は、とても大切だと思います。特に、分かりやすい計画の視点は大事で、グラフ等を使って見やすい表記をお願いします。	賛同のご意見として承ります。分かりやすい計画とする視点で、食品ロス削減推進計画の策定・推進に取り組むこととしています。	B
3	1	SDGsの開発目標をこの計画に該当する項目を全体と各章毎に記載した方がより理解できると思う。	食品ロス削減の取組は、様々な目標が相互に関連していることから、章毎にはSDGsの目標を設定していませんが、計画全体を通して、「12 つくる責任 つかう責任」と設定しています。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
4	1	P4のSDGs関連の記事について、図表【各ゴール・ターゲットの関係】の後ろにある解説文は図表の前にあった方が分かりやすい気がする。	ご意見を踏まえ、第1章第5節 計画策定に当たっての視点の図表【各ゴール・ターゲットの関係≪食品ロスの場合≫】の解説文を図表の前に記載します。	E
5	1	SDGsへの取組は、「一人の一步」が「大きな一步」につながることを、全市民が理解すべきである。	ご意見として承ります。「教育及び学習の振興、普及啓発等」を基本的施策に位置づけ、取組を進めてまいりたいと考えております。	E
6	1	地球環境・食に関することは、日常で必須である。次世代へ禍根を残さない様にして頂きたい。この施策が絵に描いた餅にならない様に願います。	ご意見として承ります。本計画は、PDCA方式による進行管理を実施しながら、取組を進めてまいりたいと考えております。	E
7	1	食品ロス計画に位置付けられておりますが、消費者はこの物価高のおり、粗末にすることは極力控えており考えられません。	ご意見として承ります。	E
8	2	実態調査の事業系食品ロスの記載で「これらの多くは残存期間を有していることから」とあるが、P75, 76の結果からみると、消費期限内は1.37kg(3.4%)なので、「多くは」は言い過ぎではないでしょうか。	ご意見を踏まえ、第2章第2節2 実態調査による現状と課題 事業系食品ロスの文中、「これらの多くは」を「これらの中には」に修正します。	A
9	2	我が国はいわゆる先進国、それが故の国内食品ロスが深刻であることを理解することが、大きな課題である。隣人にすら無関心の世の中であるので、大変なことである。	賛同のご意見として承ります。計画策定の前提として、国内の食品ロスを取り巻く現状などを踏まえ、食品ロス削減推進計画の策定・推進に取り組むこととしています。	B
10	2	第2節の本市の食品ロスの現状と課題については、18歳未満のアンケートの回答率の高さにビックリしました。食品ロスについての取組を子供のうちから意識付けが出来れば効果的だと思います。	賛同のご意見として承ります。「教育及び学習の振興、普及啓発等」の取組を基本的施策と位置づけ、食品ロス削減推進計画の策定・推進に取り組むこととしています。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
11	2	小学校高学年での意識啓発の必要性を書いておりますが、低学年での意識付けが必要ではないかと思えます。日本での自給率などの現状から必要性を教えて欲しい。	ご意見については、今後、基本的施策「教育及び学習の振興、普及啓発等」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
12	2	P5の表は99.9%であり、できれば100%にした方がいい。	ご意見として承ります。本計画の策定に当たり、外部の統計データの引用においては、加工等をせず、そのまま引用しております。	E
13	2	P5、P6の表の出典名がない。また、P9の表は99.9%であり、できれば100%にした方がいい。	ご意見を踏まえ、出典名を記載するとともに、数値は端数処理して記載しており、合計100%にならない場合がある旨の注釈を加えます。	E
14	2	第1節4は、「何月何日」ではなく、「何月」で十分だと思う。	ご意見を踏まえ、第2章第1節4 国の食品ロス削減に掛かる動向の文中、「何月何日」を、「何月」という表現に修正します。	E
15	2	P11の1. アンケート調査の最初に、「令和5年6月にアンケート実施し、調査依頼者13,844人、回答者8,939人 回答率64.5%でありました」を記載した方が理解できると思う。	ご意見として承ります。	E
16	2	第2節2の「試料」という語句には注釈をつけるか、言い替えた方がいい。	ご意見を踏まえ、第2章第2節2 実態調査による現状の課題 食品ロス実態調査の実施概要の表中、「試料のもやせるごみ」を「調査するもやせるごみ」に修正します。	E
17	2	日本の食料自給率は低く輸入に頼り農家を疲弊させてる。日本は農業国だったはずですよ。どこかで戦争が始まると大騒ぎになる。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
18	3	基本方針の各欄の中に、その内容をイメージさせるようなピクトグラムがあると良い。	ご意見を踏まえ、第3章第1節 基本方針の各欄に内容をイメージできるようにピクトグラムを追加します。	A
19	3	P14の行政の責務の②の2行目～第5章に掲げる～ は、第5章では分からないので、主要の言葉を記載した方がより理解できると思う。	ご意見を踏まえ、第3章第2節3 行政の責務の文中、「第5章に掲げる基本的施策」を『「教育及び学習の振興、普及啓発等」などの基本的施策（※詳しくはP18～23参照）』に修正します。	A
20	3	行政、事業者の真摯な取組姿勢があって、市民の役割に大きく働きかけることになる。市民は、行政、事業者の姿勢から学び、考えるきっかけをつかむものと考えます。	ご意見については、今後、基本的施策「食品関連事業者等の取組に対する支援」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
21	3	消費者が自ら生産した食品には食品ロスという言葉は使えますが、生活する為に購入した食品に食品ロスは考えられません。	ご意見として承ります。	E
22	4	九州食べきり協力店の説明が概要版にはありますが、本編にはないので、本編にも説明を加えた方が良くと思います。	第4章第1節 目標の評価指標②に、九州食べきり協力店の概要を記載しています。	B
23	4	家庭系は目標値あと5,015t、事業系はあと1,046t。この数字の根拠は？家庭系は改善の余地が大きいとの事？事業系はこれ以上対策が出来ない程対策済みでこの数字ですか？目標値の設定の根拠を知りたい。	目標値の設定については、国、県の食品廃棄物量等の公表値や実態調査をもとに、本市の2000年度の食品ロス発生量を推計し、国が設定する目標（2000年度比で2030年度までに半減）を踏まえ、設定しています。（第4節第1節 目標内に記載しています。）	B
24	4	「食べ切り協力店」とは何か具体的に理解し、浸透させていく必要がある。400店舗というのは少ないのではと考える。	ご意見については、今後、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。また、本計画は、計画内容の進捗などを検証した上で、見直しを行うこととしております。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
25	4	P16の図の中、食品ロス量は直接廃棄12%と食べ残し6%を合算すると19%ではなく18%が正しい。	ご意見を踏まえ、第4章第2節 食品ロス発生量推計の家庭系もやせるごみの内訳の円グラフを修正し、数値は端数処理して記載しており、合計が一致しない場合がある旨の注釈を加えます。	E
26	4	P16及びP17の進捗状況グラフの左側に単位 t を記載すべきと思う。	ご意見を踏まえ、第4章第2節 食品ロス発生量推計の家庭系及び事業系の食品ロス発生量の削減進捗状況グラフに単位を追加します。	E
27	4	P17の表の内訳4件 14.1%と食品ロス量14%と一致しないので、修正した方がいい。	ご意見を踏まえ、第4章第2節 食品ロス発生量推計の事業系食品廃棄物の内訳の円グラフを修正し、数値は端数処理して記載しており、合計が一致しない場合がある旨の注釈を加えます。	E
28	4	街では危険な食品添加物や有機農業・地産地消など注目や課題にされるようになりました。	ご意見として承ります。	E
29	5	基本的施策ごとの取組ですが、文字のみなので、イラストを挿入するなど読みやすくなる工夫をお願いしたいです。	ご意見を踏まえ、第5章第2節 基本的施策ごとの取組に、イラストの挿入など、視覚的に読みやすくなるように修正をします。	A
30	5	基本的施策1の7行目～宴会シーズンや～は、宴会シーズンに食べ切りの声かけ3010運動や～にした方がよいと思う。	ご意見の趣旨を踏まえ、第5章第2節 1 教育及び学習の振興、普及啓発等の文中、「宴会シーズンや季節商品の予約時期など」を「宴会シーズンの3010運動や季節商品の予約販売など」に修正します。なお、「3010運動」には注釈をつけません。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
31	5	第2節1の、食品ロス削減に向けた取組として、まずは「食べきり」があつて、その次に「持ち帰り」という位置づけをもっと明確にした方がよい。	ご意見の趣旨を踏まえ、第5章第2節 1 教育及び学習の振興、普及啓発等の文中、「外食時の食べきり・持ち帰り（持ち帰り用容器の活用を含む。）等に係る啓発を一層推進します」を「外食時の食べきりや、食べ残した場合の持ち帰り（持ち帰り用容器の活用を含む。）等に関する啓発を行います」に修正します。	A
32	5	「賞味期限」「消費期限」について、せっかく注釈をつけているのに、その文章が分かりにくい。	ご意見を踏まえ、第5章第2節 1 教育及び学習の振興、普及啓発等に記載する注釈を、それぞれ分かりやすい内容となるように修正します。	A
33	5	第2節の基本的施策ごとの取組の中に、評価指標としている「九州食べきり協力店」に関する記載がないのですか、2 食品関連事業者等の取組に対する支援の中の4つ目の小盛りサイズメニューの導入等の中に加筆支援をするなど追加記載をしたら良いのではないかと思います。そのような取組をしているお店をもっと応援したいです。	ご意見を踏まえ、第5章第2節 2 食品関連事業者等の取組に対する支援の文中、『「九州食べきり協力店」の登録を支援します。』を追加します。	A
34	5	消費者として、食品ロスに積極的に取り組むお店を応援したいので、もっと情報を提供してほしいです。	賛同のご意見として承ります。第5章第2節 1 教育及び学習の振興、普及啓発等に記載のとおり、「食品関連事業者等が行う、商慣習の見直し（返品・過剰在庫削減等）などを含めた食品ロスの削減に資する取組について普及啓発を行い、理解を促進します」の中で取り組むこととしています。	B
35	5	事業者に対する支援が最も重要であると考えている。行政はそれを考えて、事業者支援に取り組んでもらいたい。十分な支援を受けた事業者の存在により、市民は学び、そして選択をしていくことになる。	ご意見については、今後、基本的施策「食品関連事業者等の取組に対する支援」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
36	5	「九州食べきり協力店」のように食品ロス削減に取り組んでいるようなお店をもっと応援したいです。	ご意見については、「食品関連異業者等の取組に対する支援」を基本的施策に位置づけ、この中で、食品ロスの削減に取り組む食品関連事業者が評価されるよう、市民（消費者）への理解促進を図ってまいります。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
37	5	基本的施策の取組は、鹿児島市が先導して下さると意義があり、取り組むのにハードルの低さと親近感がある。	ご意見については、今後、基本的施策「情報の収集及び提供」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
38	5	これまでの学びの中でSDGsについて知り、少しでも食品ロスの減少を目指して意識して調理や献立作成に臨んできました。私たちの学びのような取組や各家庭での工夫を盛り込んだメニューや活動を広く募り「ロスノンメニュー」として紹介できるレシピ集等を作って配布し、多くの市民の方々に知ってもらい、身近に具体的な食品ロス削減の取り組みを広めていったら良いのではと思います。	ご意見については、今後、基本的施策「情報の収集及び提供」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
39	5	P18の青色の部分だけ文字のフォントが違って見えるように見える。他とそろえた方が良いと思う。	ご意見を踏まえ、第5章第1節 基本的施策の体系の文中、文字のフォントを修正します。	E
40	5	P18の評価指標の食品ロスの削減～は、P15の原文と統一し、食品ロス削減に～にした方がよい。	ご意見を踏まえ、第5章第1節 基本的施策と取組の評価指標を第4章第1節 目標の評価指標と同じように、「食品ロスの削減」を「食品ロス削減」に修正します。	E
41	5	P18の基本方針2は、P13の原文と統一し、主体的に食品ロス削減を実践するにした方がよい。	ご意見を踏まえ、第5章第1節 基本的施策の体系の基本方針2を第3章第1節 基本方針と同じように、「食品ロスを削減する」を「食品ロス削減を実践する」に修正します。	E
42	5	商習慣の見直しですが、P20では（返品・過剰在庫削減等）と（ ）書きがありますが、P19の商習慣には、（ ）書きがないので、P19にも追記が必要だと思えます。	ご意見を踏まえ、第5章第2節 1 教育及び学習の振興、普及啓発等の文中、「商習慣の見直し（返品・過剰在庫削減等）」と修正します。	E
43	5	子どもの貧困状態が7人に1人という数字が出ている。「貧困とは貧乏で生活に困るさま」とある。食品ロスはあり余る程あるようですが。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
44	6	推進体制の食品ロス削減推進会議において～は、鹿児島市食品ロス削減推進会議及び鹿児島市食品ロス削減推進庁内連絡会議において～にした方が正式名称と一致することで分かりやすい。	鹿児島市食品ロス削減推進庁内連絡会は、庁内の関係部局の連絡調整機関であるため、記載しておりません。なお、第6章第1節 推進体制の文中、「食品ロス削減推進会議」を「食品ロス削減推進委員会」に修正し、公募委員を含めた外部委員で構成する本委員会において、本計画の総合的な進行管理を行います。	C
45	6	私も身近な人も食品ロスには関心があり、それなりに努力もしている。小さな知恵でも教えて頂きたい。私の周りでも個食が増え、食材の使い回しなどの知恵も教えて欲しい。期限間近の食品も都市圏では、期限間近に特化した店舗があるとか…身近に欲しい。物価高騰の折に少しでも安価になれば特に利用したい。フードバンクなどの活用ルートが個人にも出来たら。	ご意見については、今後、基本的施策「情報の収集及び提供」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
46	6	進行管理は、推進会議のメンバーをサプライチェーンなどから広く集めて、しっかり進めてほしいです。	ご意見については、今後、計画の推進・管理にあたっての参考とさせていただきます。	D
47	6	PDCAサイクルを適時適切に、時には迅速に回す必要がある。スピード感が大事。	ご意見については、今後、計画の推進・管理にあたっての参考とさせていただきます。	D
48	6	しっかりPDCAサイクルを回してほしい。	ご意見については、今後、計画の推進・管理にあたっての参考とさせていただきます。	D
49	6	食品ロスという言葉は、消費者には理解しにくい。アンケートには解りやすく項目を使って欲しいです。	ご意見として承ります。	E
50	7	食品ロスのニュースで「3分の1ルール」という言葉を聞いたことがある。分かりにくかったので図解してもらえるとありがたい。	ご意見を踏まえ、第5章第2節2 食品関連事業者等の取組に対する支援に、「3分の1ルール」の図を追加します。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
51	7	食品ロスの削減に取り組むことは、温暖化による作物の収量減など将来を考えるととても大切なことだと思います。計画の実現を期待します。	賛同のご意見として承ります。計画策定の趣旨の中で、「食品ロスの削減は、持続可能な地球と社会を引き継いでいく上で、誰もが取り組める身近な課題です」と認識し、食品ロス削減推進計画の策定・推進に取り組むこととしています。	B
52	7	世界の貧困も当然だが、国内の格差、貧困に対する取組としてもらいたい。本当に必要な人に食品が届かない、貧困とは無関係、無関心な人が、食品を粗末にすることは何とも悲しい現実である。消費期限が切れているようなものでも、それでも構わないから食べたい、必要という人は世の中に、我が日本国内に、我が鹿児島県内、鹿児島市内にはたくさんいると思います。	ご意見については、今後、基本的施策「未利用食品を提供するための活動の支援等」の中などで、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
53	7	食品ロスの削減は、とても大切な課題だと思います。積極的に進めてほしいです。	ご意見については、今後、事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
54	7	計画の中に、グローバル、パートナーシップ、イノベーション、2030アジェンダ、九州食べ切り協力店、インセンティブ、フードバンク、ブランドイメージなど、専門語があり、分かりにくいので注釈があれば理解しやすいと思う。	ご意見を踏まえ、状況に応じて注釈をつけるなど、適宜分かりやすい内容となるように修正します。なお、注釈を付けた言葉を、巻末に用語集としてとりまとめます。 例) 【フードドライブ*5】 家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域の福祉施設等に寄付する活動	E
55	7	全体を通して、 (1) お役所的な表現はできるだけ平易な表現にしてほしい。(例えば「〇〇ものとなります」は「〇〇します」など) (2) 「等」は差し支えない範囲で「など」へ (3) 引用している公表データについては、更新されているなら、できるだけ直近のものを使ってほしい。	ご意見を踏まえ、適宜、平易な表現とするなど、全体を通して見直し、修正します。 ※引用公表データの更新： ・第2章第1節 2「食料自給率及び消費支出」 (令和5年6月9日版→令和5年11月30日版)	E